

ただいま卒業証書を授与致しました386名の卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆さま、お子様のご卒業心よりお祝い申し上げます。コロナ禍の中PTA会長山崎裕広様、部活動後援会会長伊藤えみこ様のご臨席を賜り、第23回卒業証書授与式を挙行できますこと、大変嬉しく思っております。

皆さんが入学したのは2019年4月です。日常の時間はいつものように流れており、私たちは平穏な日々を当たり前のように享受しておりました。

その年の12月中国のある都市で新型コロナウイルスが発生したという小さな記事に着目した人は一体何人いたでしょう。その新型のウイルスが世界中を駆け巡り、多くの命を奪い、人々をパニックに陥れ、政治、経済、医療、教育も大混乱になると予測した人は多くなかったのではないかと思います。

熱狂と感動の渦の中で、世紀の祭典になるはずだった東京オリンピック。世界中の人々が日本を訪れ日本は空前の好景気に沸き、日本の力、スポーツの魅力を世界にアピールするまたとないチャンスの東京2020。それもコロナがオリンピックの在り方を変えてしまいました。

奪われたのは日本の魅力を世界にアピールするチャンスだけではありません。皆さんの貴重な青春の日々もコロナウイルスがあっけなく変えてしまったのです。

理不尽にも夢や希望を突然奪われたものの悲しみ。目指していた試合や大会、

イベントが次々と消えていく虚しさ。友との語らいさえも許されない日々。ゴールのない毎日を私たちは走り続けなければなりませんでした。2021年になり状況は少し回復したとはいえ、今までのようには活動できないもどかしさを感じ、答えを見つけられない苦しい日々がそこにはあったと思います。

そんなとき、パラリンピックで懸命にプレーする選手の姿、とりわけボッチャという競技を見てから私の考えは少しずつ変化していきました。

静岡県伊東市出身の金メダリスト、杉村英孝選手は生まれた時から脳性まひの障害、車いす生活。両手も不自由、ほとんど握力もない左手でボールを投げる。その正確なコントロール、スピード、コース取り、ボールを置く位置。驚きでした。私は感動で涙が出ました。

パラスポーツの父ルートヴィヒ・グットマンの言葉です。

「失われたものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ」

この言葉通りパラリンピックのアスリートたちは、残された手足の機能で素晴らしいパフォーマンスを繰り広げてくれました。

私には失われた日常をいつまでも嘆くな、残されたものを最大限に生かして日々汗を流せというメッセージに聞こえてきたのです。

校内の行事は規模を縮小したり、時間を短縮したり、ずいぶん工夫して予定通り実施されました。殊に建学祭や体育祭での皆さんのほじける笑顔、歓声、友と喜びを分かち合う姿を見て、私自身がほっとしたことを覚えています。全

校応援やクラス遠足も実施できたことも喜びです。コロナウイルスは多くのものを皆さんから奪いましたが、皆さんはこれまで得ることができなかったもの、感じるすることができなかったものも手にすることができたように思います。

ルートヴィヒ・グットマンの言葉。「失われたものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ」

コロナで失った時間、なくなったものを嘆くのではなく、コロナ禍であったからこそ手にできたものを大切に、それを今後の人生に最大限に生かしていく。普通に時間が流れる日常の大切さ、行きたいところに行き、会いたい人に会い、食べたいものを食べ、見たいものを見る。自由に物事を考え、自由に行動することの素晴らしさ。仲間がいることの喜び。これらのことがいかに大切であるかコロナは強烈に私たちに教えてくれました。同時にコロナ禍における人々の献身的な努力や人へのやさしさ。制限され、不自由な中でどのように工夫し助け合っていけば、人々は幸福に暮らしていけるかということも私たちは学び手にしたはずです。

皆さんは多感な青春時代に貴重な経験をした世代として語り継がれるでしょう。どうかこの経験を血とし肉として今後の人生を生き抜いてほしい、洋々たる将来のある皆さんには時間を浪費することなく、夢や希望に向かって歩んでほしいと願います。

そして、今、私はこのことに触れざるを得ません。今、世界ではある大国が

「自国の利益を守る」という大義名分のもとに、小国に侵攻し人々の平和な生活を奪い、命を奪い、領土を奪おうとしている現実があります。地下鉄に逃れた10歳ほどの少女が「大きな爆発の音があって怖かった、私は生きていたい」と震えながら話し、大粒の涙を流したその映像は今も目に焼き付いています。私たちが守らなければならないものは、自由、平等、平和です。この3つのことが成り立って、初めて幸福は訪れます。皆さんには自由で平等で平和な社会を作るという大きな責任があります。どうかその自覚をもって幸福な社会を作るために頭にも心にも体にも汗を流してください。

静岡翔洋高校からは悠久の姿をとどめる美しい富士が見えます。^{とわ}永遠にそびえ立つ富士のように皆さんの友情もいつまでも続くことでしょう。そして、この校舎はいつまでも皆さんの応援団です。どうぞ、翔洋生らしく胸を張って、自らの抱く希望に向かって歩みを進めてください。

希望こそ生きる原動力です。素晴らしい人生の「門出」となることを祈念致しまして、「告辞」といたします。

卒業おめでとう。